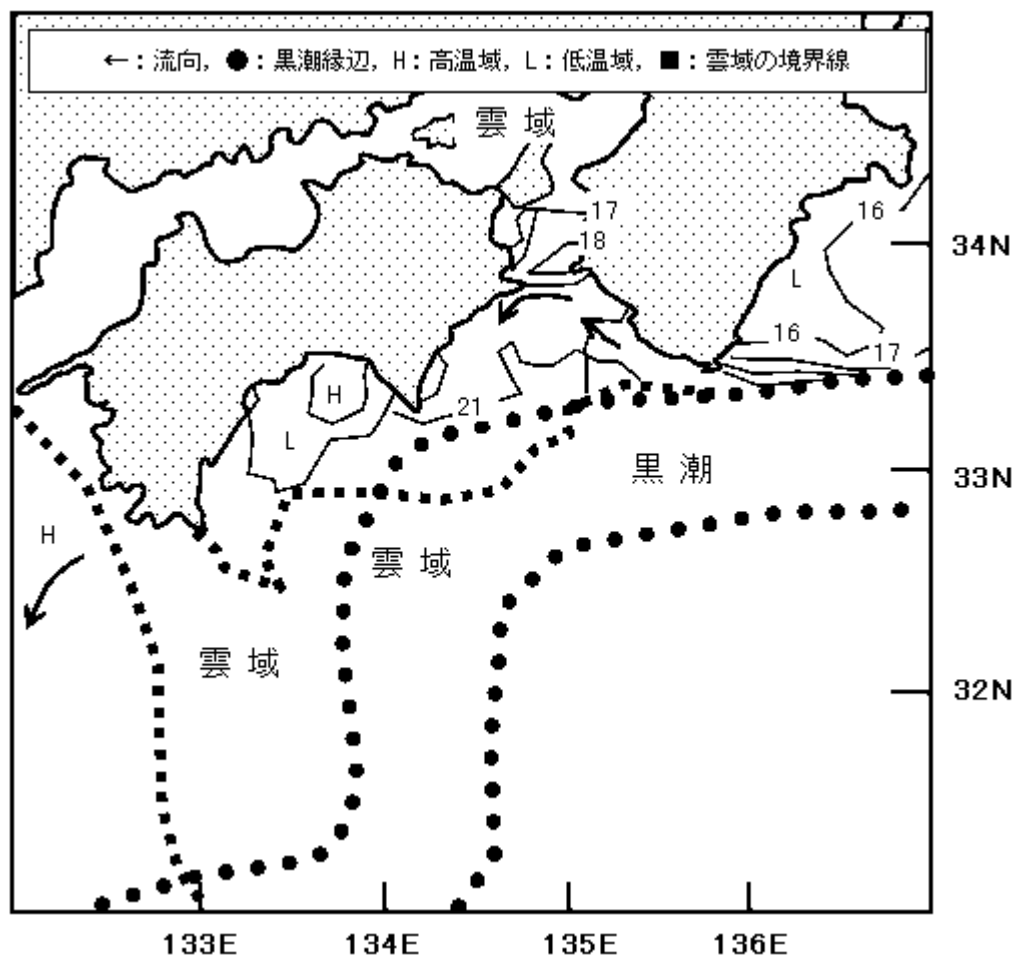


1. 海況の経過

1) 黒潮

九州東岸で接岸～足摺岬～土佐湾南沖で大きく離岸、室戸岬沖を北上し、紀伊水道沖～潮岬で接岸して流れている。潮岬南の黒潮離岸距離は10マイル以内。表面水温は23℃前後。



2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.1.6～7)を示した。

表面水温は播磨灘が雲のため詳細は不明、紀伊水道内部が16～20℃、水道外部は20～21℃である。20℃の黒潮系暖水が和歌山県側から紀伊水道外域に流入している。

漁業調査船「とくしま」が1月5日に行った播磨灘海区の海洋観測結果では、水温は、表層～30m層で「やや高め」の12.9～13.3℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/01/05)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	12.9	12.9	13.1	13.3	今年値	31.9	31.9	32.0	32.0
平年偏差	0.9	0.9	1.2	1.2	平年偏差	-0.6	-0.6	-0.6	-0.6
前年偏差	前年偏差								

延縄:海部沿岸で、小主体にアマダイが1.2トン(1日1隻あたり29g)、大主体にサバフグが0.3トン(同22kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.6トン(同12kg)、中主体にメジナが0.4トン(同31kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、小主体にタチウオが0.9トン(同106kg)、マルソウダが0.5トン(同60kg)、大主体にスルメイカが0.4トン(同47kg)、中主体にカワハギが0.2トン(同26kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、特大主体にヨコワが0.7トン(同12kg)、大主体にアオリイカが0.4トン(同5kg)、紀伊水道で大主体にサワラが0.2トン(同7kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが1.5トン(同25kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 12月21日～12月27日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	40	1,155	29	小主体
		サバフグ	14	315	22	大主体
小型定置網		アオリイカ	50	623	12	大主体
		メジナ	13	401	31	中主体
大型定置網		タチウオ	8	850	106	小主体
		マルソウダ	8	481	60	
		スルメイカ	8	376	47	大主体
		カワハギ	8	205	26	中主体
釣り		ヨコワ	56	658	12	特大主体
		アオリイカ	80	425	5	大主体
	紀伊水道	サワラ	31	231	7	大主体
パッチ網		シラス	58	1,450	25	

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の11～12℃、日和佐地先で「平年並み」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.5トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上